

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第20週は、新規感染者数は、958件の報告がありました。感染が急速に拡大した4月下旬以降の新規感染者は、20歳代を中心に若い世代で多く確認されています。また、変異株の検査を行った新規感染者のうち、8割以上が変異株であることが判明しています。さらに、これまで確認されていた英国型変異株に加え、初めてインド型変異株が確認されました。誰もが感染するという意識を強く持ち、基本的な感染対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス変異株について

	英国型変異株	インド型変異株
主な変異	N501Y	L452R (E484Q)
感染性 (従来株比)	1.32倍と推定※ [5～7割程度 高い可能性]	高い可能性
重篤度 (従来株比)	1.4倍(40-64歳1.66倍)と推定※ [入院・死亡リスクが高い可能性]	重篤度に影響がある証拠なし
再感染や ワクチン効果 (従来株比)	効果に影響がある証拠なし	ワクチンと抗体医薬の 効果を弱める可能性

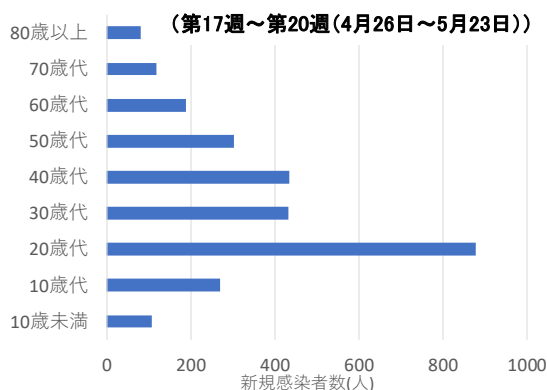
※感染性・重篤度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づくもの。

ただし、重篤度について、本結果のみから変異株の重症度について結論づけることは困難。

厚生労働省:第35回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和3年5月19日)

資料4より(<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000781665.pdf>)

年齢階層別新規感染者数



2 RSウイルス感染症

定点当たり1.00人と、例年同時期と比べて多くなっています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.12		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.34	
	咽頭結膜熱	11	0.46	0.59		小児科	RSウイルス感染症	24	1.00	0.12	▲
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	0.46	2.20		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	162	6.75	6.05	→	眼科	流行性角結膜炎	-	-	0.69	
	水痘	3	0.13	0.13		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	1	0.04	1.11		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.39		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.08	
	突発性発しん	8	0.33	0.31		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.38		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.28	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	2	10	80歳代・市外、90歳代
5	梅毒	1	22	20歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)感染性胃腸炎
報告数	広島市	第16週	-	6	19	300	4	-	1	11	2	1	5	-	7	-	-	-	-
		第17週	-	10	19	289	2	-	1	8	-	1	6	-	4	-	-	-	-
		第18週	-	8	5	110	5	1	-	7	-	1	3	-	5	-	-	-	-
		第19週	-	14	12	168	2	-	-	10	-	-	15	1	2	-	-	-	-
		第20週	-	11	11	162	3	1	-	8	-	-	24	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第16週	-	0.25	0.79	12.50	0.17	-	0.04	0.46	0.08	0.04	0.21	-	0.88	-	-	-	-
		第17週	-	0.42	0.79	12.04	0.08	-	0.04	0.33	-	0.04	0.25	-	0.50	-	-	-	-
		第18週	-	0.33	0.21	4.58	0.21	0.04	-	0.29	-	0.04	0.13	-	0.63	-	-	-	-
		第19週	-	0.58	0.50	7.00	0.08	-	-	0.42	-	-	0.63	0.13	0.25	-	-	-	-
		第20週	-	0.46	0.46	6.75	0.13	0.04	-	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
全国		第18週	-	0.16	0.39	2.22	0.09	0.02	0.02	0.33	0.02	0.03	0.88	-	0.15	0.01	0.01	0.03	-
		第19週	-	0.32	0.64	3.92	0.13	0.05	0.02	0.42	0.05	0.05	1.00	-	0.20	0.01	0.02	0.04	-

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第20週(5月17日～5月23日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
35	72	239	156	159	120	73	65	39	—	958

【累計報告数(5月23日現在)】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
208	450	1,570	974	986	864	550	464	390	67	6,523

「風邪かな?」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566 に連絡・相談しましょう。

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

6月1日(火)～6月7日(月)は「HIV(エイズ)検査普及週間」です！

広島市では、各区保健センターで、エイズに関する電話での相談を受けています。無料・匿名検査は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、現在、休止しています。検査再開については、下記の広島市ホームページでお知らせします。

【詳しくはこちらをご覧ください】

・広島市ホームページ「エイズに関する相談と無料・匿名検査」
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

【問い合わせ先】

健康福祉局 保健部 健康推進課(電話:082-504-2622)

参考:エイズ予防情報ネット「令和3年度「HIV検査普及週間」特設ページ」
<https://api-net.jfap.or.jp/edification/week/tokusetsu2021.html>



レッドリボンとは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp